

## 『テニピン』実施レポート

学校名	秋田県にかほ市立平沢小学校	実施日	令和5年3月
担当教員名	教諭 大極 久稔	実施学年/人数	第5学年/37人
学習指導計画	<p>①時間目：テニピンを知ろう</p> <p>②～④：ラリーゲームをしよう</p> <p>⑤～⑥：4点マッチゲームをしよう</p> <p>(子どもたちの実態により、⑥時間目は4点マッチゲームを行わず、3つの学習コースに分かれて行った)</p>		
授業の実際	<p><b>【基本のルール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人一組で行う。(ダブルス) 毎時間違う人とペアを組む。</li> <li>・ペアで交互に返球し、コート内にいる4人全員が返球し終わってからゲーム開始となる。</li> <li>・返球は2バウンドまで有効。</li> </ul> <p><b>【ラリーゲーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と相手チームの返球が続いたラリー数をお互いの得点とするゲーム</li> </ul> <p><b>【4点マッチゲーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・得点した方からボールを出し、先に4点(相手コートでボールが3バウンドしたら自分チームの得点)を取った方が勝ちとする</li> <li>・桂・濱中式で試合を行う</li> </ul> <p>～実施内容～</p> <p>①時間目：ペアの友達とテニピンでラリーを楽しんだ。</p> <p>②～④時間目：・ラリーゲームに挑戦する。色組ごとに総当たり戦で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラリーを多く続けるためには、どこに・どのように打つといいかを確かめてからゲームを行った。</li> <li>・ラリーを多く続けるためには、ボールを待つ位置をベースラインよりも後ろにすることで、全ての球に返球できることに気付かせた。</li> </ul> <p>⑤、⑥時間目：・4点マッチゲームを行おうと思ったが、ラリーゲームから児童の実態を見て、コースごと(ラリーを楽しむコース、ラリーゲームコース、4点マッチゲームコース)に別れて、自分の技能にあったところで活動をした。</p>		
授業づくりの工夫 指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習活動に入る前に、基本の練習を行いボールと面の当たり方を確かめられるようにした。</li> <li>・室内で行ったときに、HPに記載されていたハードルをネット代わりにして行った。</li> <li>・児童の実態に合わせて、3つのコースを作り、児童の自己決定のもとでテニピンを行った。</li> <li>・要支援児童を取り出して教師と一緒に練習した。具体的には、ボールを上から下に打ってしまいネットを越えなかったため、テーブルを重ねた高い簡易ネットを作り、ボールを下から上に打つ感覚を養った。</li> <li>・ラリーを続けることが難しい児童には、キャッチをしてから打球するルールを付け加えた。</li> </ul>		

感想・質問 今後の実施予定等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5学年の2・3月の体育として扱っていきたい。</li> <li>・運動や体育の授業に苦手意識のある児童でも、テニピンを楽しんで行っている姿が見られた。授業時間に意外でも「テニピンをしたいです」と、児童から声が上がリ、学年のお楽しみ会でもテニピンをするほど、児童にとってなじみやすいスポーツ（運動）だと感じた。</li> <li>・ラリーを続けることが難しい児童が多くいたため、ルールややり方等をもっと工夫する必要があった。指導教員がもっと多ければ（私単独であったため）、ボールを出して打球する練習などを行えたと思う。実態に応じて、テニピンの行い方を工夫したり、低学年からテニピンを位置づけたりして、ボールを打球することに慣れていけば、さらにテニピンを楽しむことにつながったと考えられる。</li> </ul>
-------------------	---

学習シート



### ☆テニピン 学習シート☆

5年松組 番 名前 \_\_\_\_\_

**【学習のねらい】**

- ①テニピンの行い方を理解し、ボールを持たないときの動きによって、ラケットを使ってボールを操作したり、相手にボールを返球したりすることができる。
- ②ルールや作戦、役割をチームやチームメイトに合うよう工夫しながら、友達に自分の考えを伝えることができる。
- ③運動に積極的に取り組み、ルールを守って助け合いながら運動したり、勝敗を受け入れて仲間の考えやアドバイスを認めたりして、安全に運動している。

**【学習の流れ】**

1. ランニング → あいさつ → 準備運動
2. ペアで基本の練習 → 今日のめあて
3. 今日の練習
4. ゲーム
5. 振り返り → あいさつ

**【基本のルール】**

- ・2人一組のチームで行う（ダブルス）
- ・ジャンケンをして、勝った方からボールを出す（サーブ）
- ・ボールは交互に返球する。（**味方①** → 相手① → **味方②** → 相手② → **味方①** → …）
- ・コート内にいる4人が、交互に返球し終わってからゲームとなる。
- ・返球は、2バウンドする前に行う。

**○ゲーム1（ラリーゲーム）**

自分と相手チームの返球が続いた（ラリー）数をお互いの得点としていくゲーム

**○ゲーム2（4点マッチゲーム）**

- ・4点を先に取った方の勝ちとする。
- ・サーブは、**味方①②**相手①②**味方①②**…の順番で行う。
- ・相手コートで、ボールが2バウンドしたら、自分のチームが1得点となる。



日付	めあて	今日の自分	振り返り <small>（どんなことができたか・友達よかったアドバイスや動きなど）</small>	もっと こうしたい
/		① ● ○ △ ② ● ○ △ ③ ● ○ △	_____	
/		① ● ○ △ ② ● ○ △ ③ ● ○ △	_____	
/		① ● ○ △ ② ● ○ △ ③ ● ○ △	_____	
/		① ● ○ △ ② ● ○ △ ③ ● ○ △	_____	
/		① ● ○ △ ② ● ○ △ ③ ● ○ △	_____	